

# McAfee Endpoint Security

マカフィー エンドポイントセキュリティ

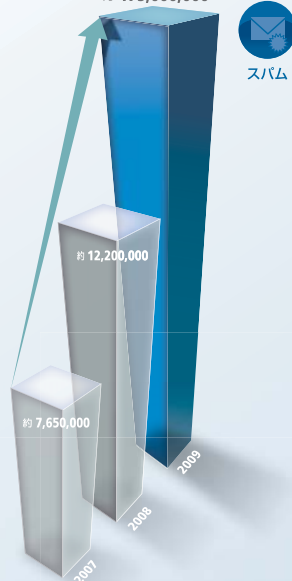
エンドポイントのセキュリティをさらに強固に、さらにシンプルに



# 感染経路の複雑化、脆弱性を突く感染攻撃など、最新脅威が猛威をふるう時代です

1日のスパム数  
約**1750**億通

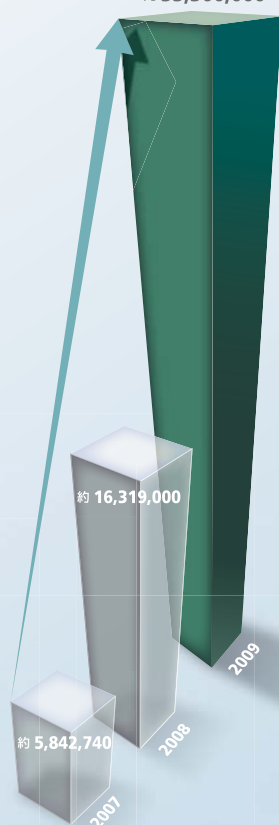
メールはマルウェアやフィッシング詐欺に利用される主因です  
約 175,000,000



スパム

マルウェア数  
約**285%**増

USBを介するマルウェア、脆弱性を狙ったマルウェアが急増しています  
約 33,300,000



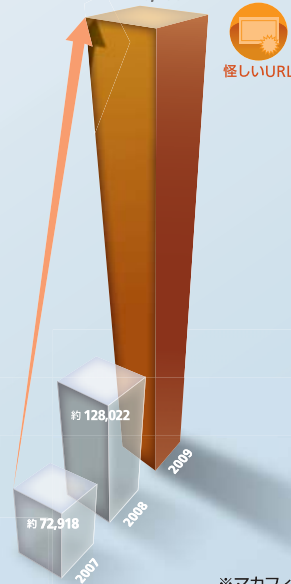
USB



脆弱性

怪しい・疑いのあるURL  
約**584%**増

2009年で一番多かった脅威はWebの脅威です  
約 426,135



怪しいURL

※マカフィー調べ

今、エンドポイントセキュリティに求められる新たなプロテクション機能のポイントとは？

## POINT 1

### 多層防御を実現!

メール、Web、USBメモリーなどのマルウェア感染経路に最適化されたプロテクション機能を提供。

## POINT 2

### 新たな脅威に対抗!

1.44秒ごとに発生する新たなマルウェア脅威への対抗策。ファイルレピュテーション、Webレピュテーションを実装。

## POINT 3

### 脆弱性の可視化を実現!

ドライブバイダウンロード型といった脆弱性を利用する感染脅威対策としての脆弱性可視化を実現。

マカフィーの  
エンドポイント  
セキュリティ スイート

McAfee Endpoint Protection Suite

McAfee Endpoint Protection - Advanced Suite

McAfee Total Protection for Endpoint - Enterprise Edition

※各スイート製品に含まれるコンポーネントは裏面をご確認ください。

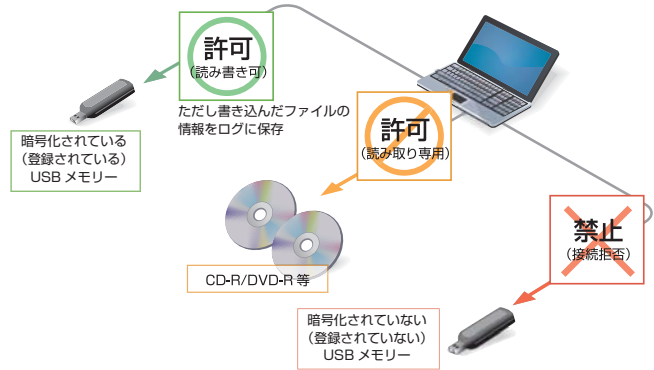


USB

## USBメモリー等の外部デバイスからのウイルス感染を防御

### デバイス制御

- セキュリティポリシーとして使用を認めるデバイス (例：会社指定の特定のUSBメモリー)のみを接続許可することで、ウイルス感染の経路となりやすい外部デバイスの接続を制限します。
- データ持ち出し、紛失の原因ともなりやすいUSBメモリーの利用を制限することで、データ保護を強化します。



怪しいURL

## 持ち出しPCを含むWebサイトへのアクセスを制限

### URLフィルタリング

- エンドポイント搭載型のURLフィルタリング機能を利用することで、持ち出されたPCでの継続的なWebサイトへのアクセス制御を維持し、Web経路からのマルウェア感染リスクを軽減します。
- デスクトップファイアウォール機能を利用して接続場所を検知し、外出先かどうかを自動的に判別し、社内ネットワークとは異なる、より強力なアクセス制御を実施することが可能です。

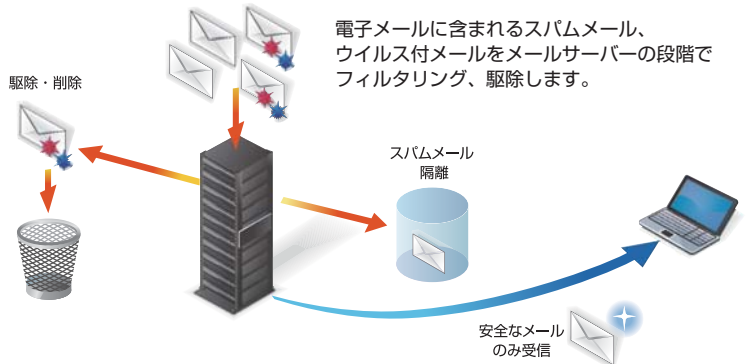


スパム

## 電子メールやスパムメールからのウイルス感染を防御

### メールウイルス対策、スパムメール対策

- 不正なサイトへの誘導を促すスパムメール、および、マルウェア流入経路となる電子メールをメールサーバー段階で効率的にブロックすることで、マルウェア感染のリスクを最小化します。
- スパムメールをサーバー段階で隔離・駆除することにより、エンドポイント利用者側の作業負担を低減します。



脆弱性

## エンドポイントにおける脆弱性状況を可視化\*

### 脆弱性可視化 / 対策に関するアドバイザリー機能

- ポリシー監査機能は、パッチ適用状況やセキュリティベースラインとの比較により、企業内に分散するエンドポイントでの脆弱性状況を可視化します。
- ホスト型の不正侵入防止を利用することで、タイムリーなパターンファイルやパッチ更新が難しい持ち出しPCに対して、脆弱性を利用した攻撃からの保護を行います。
- McAfee Risk Advisorを追加することにより、各脆弱性に対する対策ナレッジを提供し、予防保守的なエンドポイントの保護を実現します。

脆弱性可視化

■ 赤: 脆弱性があり、セキュリティ保護が機能していない。  
■ 黄: 特定の脆弱性があったとしても、マカフィーの機能が保護している。

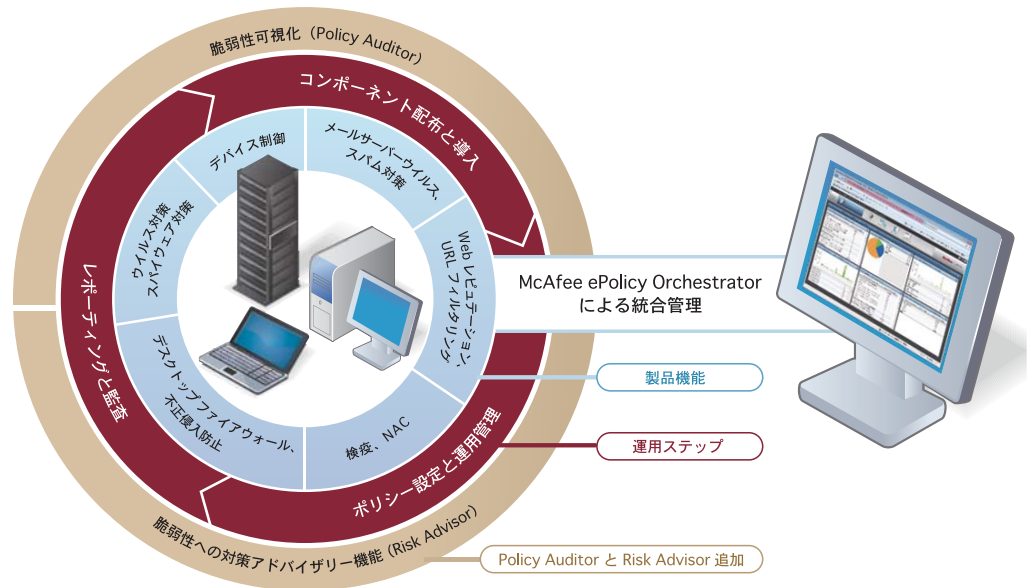
対策に関するアドバイザリー機能

・脆弱性の概要と詳細説明  
・脆弱性の緊急性  
・脆弱性への根本的な対応措置  
・脆弱性への保護機能が有効なマカフィー製品

\*本機能は、Endpoint Protection Suite には含まれません。

# 包括的なマルウェアプロテクションの統合管理を実現する McAfee ePolicy Orchestrator® (ePO™)

統合管理コンソールePOでの集中管理のもと、メール、Web、USBメモリーなどの感染経路への多層的なマルウェアプロテクションを実現。さらに最新脅威に対抗するためのファイルレピュテーションとWebレピュテーションの活用、脆弱性攻撃への抑止としての不正侵入防止と脆弱性の可視化を実現します。日々進化するマルウェアの脅威から企業システムを保護するとともに、エンドポイントセキュリティ運用管理にかかるTCO削減を実現します。



エンドポイントセキュリティ・スイート一覧				
主な機能	包含コンポーネント	McAfee Endpoint Protection Suite	McAfee Endpoint Protection-Advanced Suite	McAfee Total Protection for Endpoint - Enterprise Edition
統合コンソール	ePolicy Orchestrator	✓	✓	✓
ウイルス対策	VirusScan Enterprise	✓	✓	✓
スパイウェア対策	Anti-Spyware Enterprise	✓	✓	✓
ファイルレピュテーション	VirusScan Enterprise / Security for Email Servers	✓	✓	✓
デバイス制御	Device Control	✓	✓	✓
メールウイルス対策 スパムメール対策	Security for Email Servers / Anti-Spam for Email Servers	✓	✓	✓
Webレピュテーション	SiteAdvisor Enterprise	✓	✓	✓
デスクトップ・ファイアウォール	Host Intrusion Prevention		✓	✓
不正侵入防止	Host Intrusion Prevention		✓	✓
URLフィルタリング	Web Filtering for Endpoint Module		✓	✓
検疫、NAC	Network Access Control		✓	✓
ポリシー監査	Policy Auditor for Desktops		✓	✓
ディスク暗号化	Endpoint Encryption for Devices			✓
Mac ウイルス対策	VirusScan for Mac			✓
Linux ウイルス対策	VirusScan Enterprise for Linux			✓

最新情報はこちらをご覧ください。 [http://www.mcafee.com/japan/enterprise/system\\_suite/](http://www.mcafee.com/japan/enterprise/system_suite/)



●製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ

マカフィー株式会社 [www.mcafee.com/jp](http://www.mcafee.com/jp)

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティ ウェスト20F  
TEL.03-5428-1100(代) FAX.03-5428-1480

西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル 18F  
TEL.06-6344-1511(代) FAX.06-6344-1517

名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビルディング3F  
TEL.052-954-9551(代) FAX.052-954-9552

福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F  
TEL.092-287-9674(代) FAX.092-287-9675

McAfeeの英文/和文社名、各商品名、ロゴはMcAfee, Inc.またはその関係会社の商標または登録商標です。

本書中のその他の登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。©2010 McAfee, Inc. All Rights Reserved.

●製品、サービス、サポート内容の詳細は、最寄りの代理店または弊社事業部までお問い合わせください。●製品の仕様、機能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

MCABR-EPS-1012-DS